

# 文芸部

文芸部は、よく言えば“少数精鋭”わるく言えば“部員不足”ではありませんが、地道に活動しています。「伝統」という重みをひしひしと感じながら文芸誌「鶴聲」を無事に発行することを目標に文芸部としての活動を行っています。

そのために、とても大切なことは都留高生のみなさんの、短歌や俳句、時には連歌を(宿題に出た以上は)創ってみよう!できれば入選もしてみたいな!という前向きな気持ちによって多くの作品を、県内外の大会に応募することです。その結果、入選や入賞という栄誉をいただくことができた作品を「鶴聲」で発表していくことが、私たちの活動です。

## 《活動実績》

山梨県高等学校芸術文化祭「俳句の部」優秀賞 現3年 福嶋美友さん

→平成30年度全国高等学校総合文化祭(信州大会)出場

富士山大賞2017 学生最優秀賞 現2年 木下夢実さん

第20回関東地区高校生文芸大会(茨城大会)出場 現2年 荻原大晴君

その他、第63回青少年読書感想文コンクール、郡内短歌など多数入選



福山大学宮地茂記念館前にて



開会式の様子



全体交流会の様子



分科会・短歌部門の様子



分科会・散文部門の様子



分科会・俳句部門の様子

**2016 全国総合文化祭(ひろしま総文)文学部門の様子です。**